

1. リスク専門部会に関連する以下の標準に関して、ご自身の活動に照らして、関心の高い標準、または関連テーマ、技術領域について、チェックボックスに入力ください。

また、その理由について可能な範囲で「関心の高さの理由」を入力ください。

標準、または関連テーマ、技術領域	標準、または関連テーマ、技術領域への関心			関心の高さの理由
	高	中	低	
【例】 〇〇〇に関する実施基準：20xx	【例】 <input checked="" type="checkbox"/>	【例】 <input type="checkbox"/>	【例】 <input type="checkbox"/>	【例】 〇〇〇〇の点から、今後活用したいと考えているため。
原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準（レベル1 PRA 編）：2013	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
発行年は2014年8月であり、改定時期は2018年12月である。現在、分科会において改定中であり、性能規定化・階層化を検討している。また、英文を作成中である。				
原子力発電所の停止状態を対象とした確率論的安全評価に関する実施基準（レベル1 PSA 編）：2010	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
発行年は2011年11月である。制定・発行の手続き中である。				
原子力発電所の確率論的リスク評価用のパラメータ推定に関する実施基準：2015	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
発行年は2016年11月であり、改定時期は2021年3月である。R1の性能規定化されたレベル1 PRA 実施基準から参照される。				
原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準（レベル2 PRA 編）：2016	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
発行年は2016年12月であり、改定時期は2021年6月である。地震レベル2への適用範囲の拡大と最新知見の反映を検討中である。				
原子力発電所の確率論的リスク評価に関する実施基準（レベル3 PRA 編）：2016	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
改定発行準備中である。（2016年12月に制定されたが、修正により再制定）				
原子力発電所に対する地震を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：2015	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
発行年は2015年12月であり、改定時期は2019年6月である。性能規定化を検討中であり、停止時地震への適用範囲の拡大を検討中である。				
原子力発電所に対する津波を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：2016	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
改定発行準備中である。停止時津波への適用範囲の拡大を検討中である。				
原子力発電所に対する津波を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準の評価適用事例集：2012	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
発行年は2012年12月である。評価事例集である。				
原子力発電所の内部溢水を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：2012	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
発行年は2012年11月であり、改定時期は2017年9月である。定例改定要否検討の開始予定は、2018年中旬からである。				
原子力発電所の内部火災を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：2014	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
発行年は2014年9月であり、改定時期は2019年6月である。定例改定要否検討の開始予定は、2018年中旬からである。				
断層変位を対象とした、原子力発電所の確率論的リスク評価に関する実施基準：201X	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
新規策定中であり、発行年は2019年度を予定している。作業会において検討中である。				

標準、または関連テーマ、技術領域	標準、または関連テーマ、技術領域への関心			関心の高さの理由
	高	中	低	
【例】 ○○○に関する実施基準：20xx	【例】 <input checked="" type="checkbox"/>	【例】 <input type="checkbox"/>	【例】 <input type="checkbox"/>	【例】 ○○○○の点から、今後活用したいと考えているため。
外部ハザードに対するリスク評価方法の選定に関する実施基準：2014	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
発行年は2014年12月であり、改定時期は2019年9月である。定例改定要否検討中である。				
外部ハザードに対するリスク評価方法に関する手引き	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
発行年は2015年12月である。手引きである。				
核燃料施設に対するリスク評価に関する実施基準	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
新規策定中であり、発行年は2017年度を予定している。内部火災への適用範囲の拡大を検討中である。				
原子力発電所の確率論的リスク評価の品質確保に関する実施基準：2014	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
発行年は2014年5月であり、改定時期は2019年3月である。現在、分科会において改定中である。リスク情報活用を念頭に置いたPRAの品質にかかる改定、V&V、Configuration Control 規定化を併せて検討中である。				
原子力発電所の確率論的リスク評価標準で共通に使用される用語の定義:2014	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
発行年は2014年10月である。用語の定義である。各標準の制改定に合わせて改定を検討することになっている。				

2. ご自身の活動に照らして、関心の高い標準、または関連テーマ、技術領域が上記のアンケート対象に含まれていない場合、提案、要望、コメント等を（自由回答欄）に入力ください。

（自由回答欄）

3. 年代

- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70代 および それ以上

4. 所属機関

- 電力会社若しくは関連エンジニアリング会社
- メーカー
- 研究所等、研究関係
- 大学等、教育関係
- 規制
- 医療関係
- その他

5. お差し支えなければ、ご氏名、ご連絡の為の電子メールアドレスを下記にご入力ください。
アンケートにてご回答頂いた内容について、後日ご連絡を差し上げる場合がございます。

ご協力ありがとうございました。

一般社団法人日本原子力学会 標準委員会事務局 Email sc@aesj.or.jp